

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている

「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を全日赤結成以来70年間、一貫して最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月2日

単組名 【全日本赤十字労働組合連合会第1回中央執行委員会】

施設名 【 】

職場・所属 【 】 13 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

森田 しのぶ、五十嵐 真理子、中村 健一、河野 昌晃、山口 早苗、立道 彩、和田 敏幸、鷹見 英征、小松 弘典、水野 幸人、鈴木 郁雄、對馬 睦美、山口 銀次郎

※ 7/13、第70回定期全国大会で「日本を再び戦争へ導く「戦争法案」を廃案にし、平和憲法を守りぬこう」の特別決議を採択しました。

